

知床ねむろエリア マーケティングワークショップ

観光地域を対象としたマーケティングの理屈・手法の分かりやすい解説、世界の観光先進国・地域の感動事例の紹介などを通して、知床ねむろエリアを世界水準の観光地域へ進化させるために必要な「デスティネーション・マーケティング」の“使える知識”を学びます。

日 程 (案)

- 第1回 9月30日(水) (現地開催)
第2回 10月23日(金) (現地開催)
第3回 11月17日(火) (現地開催)
第4回 12月8・9・16日のいずれか (現地開催、又はオンライン)
第5回 1月中旬報告会 (現地開催、又はオンライン)
*第4回、第5回は確定次第ご連絡いたします。

時 間

13:00～16:30
(内容により変更となる場合がございます)

場 所

中標津町総合文化会館「しるべっと」
北海道標津郡中標津町東2条南3丁目1番地1
(*第4回、第5回はオンライン開催)

対象者

市町村観光所管職員、観光協会、観光関連事業者他

講師プロフィール



講師 北村倫夫氏

KIRI北村学際総研 所長

<元北海道大学大学院 メディア・コミュニケーション研究院教授>

札幌出身。1981年3月北海道大学経済学部卒。同年4月株式会社野村総合研究所入社。同社では、地域計画研究部、行政システム研究部、地域政策研究部、社会システムコンサルティング部等に所属し、国土・マクロ政策、都市・地域政策、行政・公共経営、事業開発の分野における、国・自治体・企業等からの受託調査研究に従事。2017年2月に同社を退職。

2017年3月より、北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院教授、2021年4月より特任教授を経て、2023年3月に定年退職。専門は、観光・デスティネーションマーケティング論、地域観光戦略論、パブリックセクター広報論、情報メディア論。2024年1月より、KIRI北村学際総研（個人事業）を立上げ現在に至る。

ワークショップ内容

目的

知床ねむろエリア（1市4町：根室市・別海町・中標津町・標津町・羅臼町）における、「世界水準のデスティネーション・マーケティング・プラン（DMP）」を立案・実行するための、実践的知識と基礎的ノウハウを身に付けることを目的とする。

方式

本ワークショッププログラムは、「PBL（Project-Based Learning）」の方式により行う。PBLとは「設定されたテーマに対して、参加者が自ら課題や目標を設定し、その解決や実現に向けたプランの立案とプレゼンテーションを行うことによって学ぶ学習形態」のことである。

構成

- 【前半】＜第1～2回＞：講義により、世界標準のデスティネーション・マーケティングの原論と実践事例、世界水準のデスティネーション・マーケティング・プラン策定の勘所を学ぶ。
- 【後半】＜第3～5回＞：参加者等のグループワークにより、「知床ねむろデスティネーション・マーケティング・プラン＜簡易版＞」（仮称）の作成・発表・討議を行う。

【前半】 第1回 (9/30) 第2回 (10/23)	I. 世界標準のデスティネーション・マーケティングの原論・実践事例を学ぶ ・デスティネーション・マーケティングの原論（定義、ブランド設定、内外環境調査、市場戦略（STP）、マーケティング・ミックス、成果評価等）を学ぶ。 ・世界の観光先進国・地域で策定・実行されている「デスティネーション・マーケティング・プラン（DMP）」の最新事例の実態を知る。 II. 世界水準のデスティネーション・マーケティング・プラン策定の体系と勘所を学ぶ ・日本において、世界水準のデスティネーション・マーケティング・プラン（DMP）を策定する際の「体系」（全体フロー）および「勘所」（重要なポイント）を、具体事例を参照しながら学ぶ。
【後半】 第3回 (11/17) 第4回 (12月) 第5回 (1月)	III. 「知床ねむろデスティネーション・マーケティング・プラン＜簡易版＞」（仮称）を作成する。 ・参加者等のグループワークにより、知床ねむろエリア（1市4町）を対象とした「デスティネーション・マーケティング・プラン＜簡易版＞」を実際に作成する。 IV. 「知床ねむろデスティネーション・マーケティング・プラン＜簡易版＞」（仮称）を発表・討議する。 ・作成したプラン案を、関係者に対して口頭発表（プレゼンテーション）し、討議する。

お問合せ 知床ねむろ観光連盟 事務局 佐々木

運営委託 株式会社ライブ環境計画(事務局) 担当:鈴木、山田